



女性委員会では、新型コロナ禍で活動自粛をしている中でも、女性が中心となって活動できるよう「物づくりレシピ集」を作成しました。是非お役立てください。

鳥取県老人クラブ連合会女性委員会



目次

- しゃんしゃん傘
（鳥取市老人クラブ連合会） 1
- バンダナで作るエコバック
（鳥取市老人クラブ連合会） 4
- つまようじ袋
（若桜町老人クラブ連合会） 6
- めがね置き
（境港市ことぶきクラブ連合会） 8
- 和風ネックレス
（境港市ことぶきクラブ連合会） 10



しゃんしゃん傘

鳥取市老人クラブ連合会



【材料】

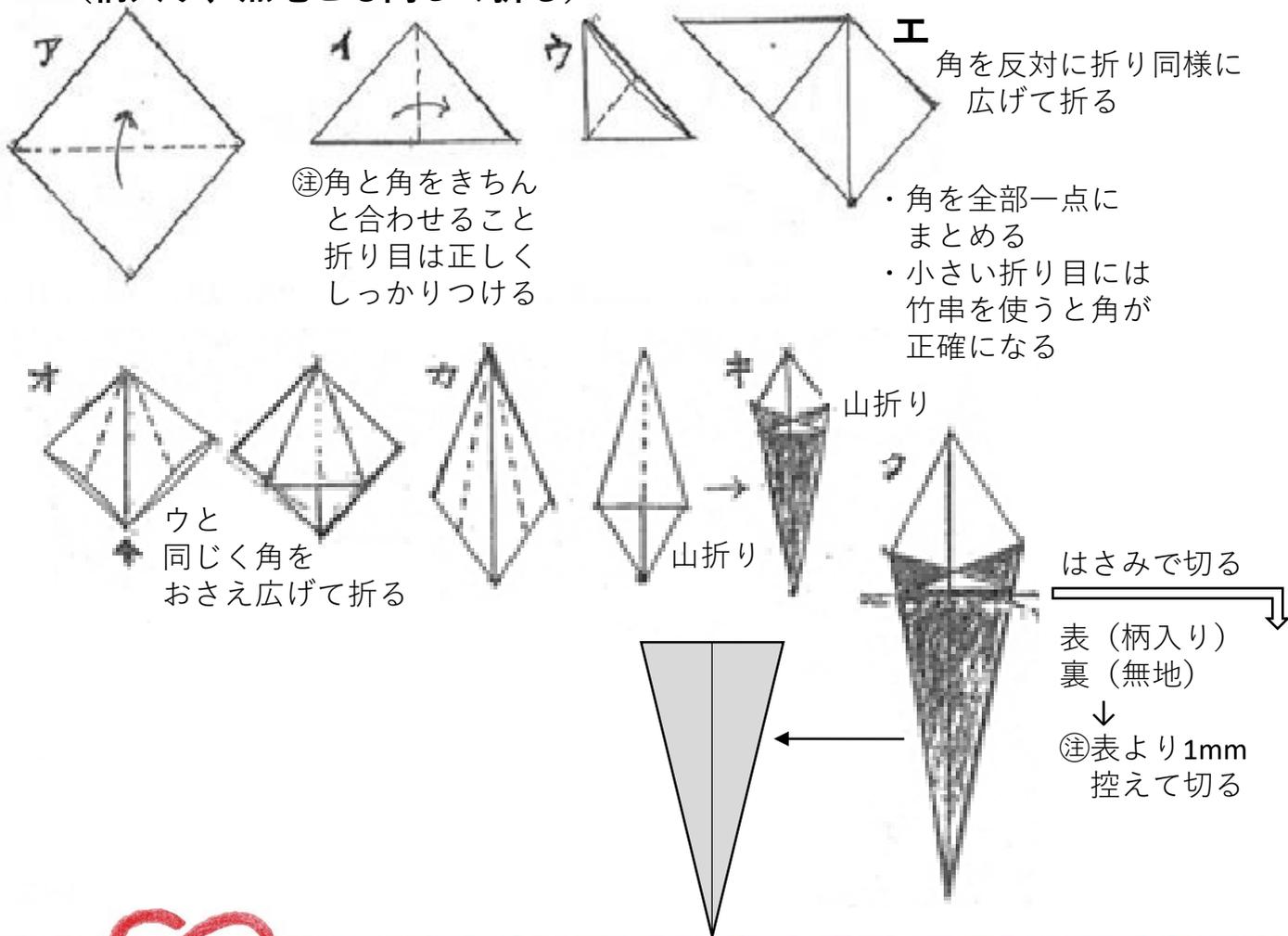
- ・折り紙 2枚 (柄入り、無地 各1枚)
- ・竹串 1本 (18cmくらい)
- ・傘の頭用折り紙 (4cm角1枚、3.5cm角1枚)
- ・金か銀のテープ (竹串に巻き付ける)
- ・はさみ (小)
- ・ボンド
- ・のり下地
- ・ティッシュペーパー



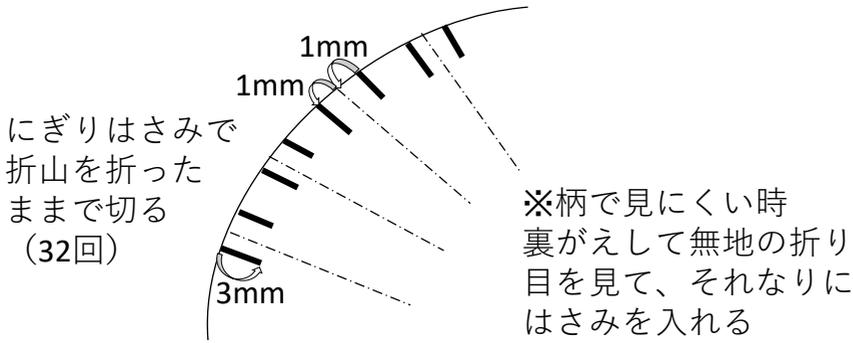
【作り方】

—— 山折り - - - - - 谷折り

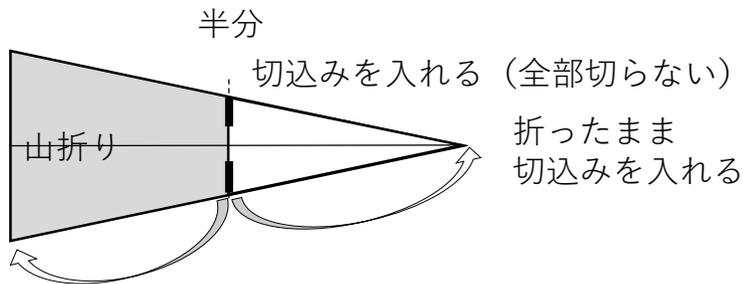
① 折り紙を傘の型に折る 2枚 (柄入り、無地とも同じく折る)



② 表の傘の外側折山から1mm程度外側に
3mmの切込みを入れる（柄入り）



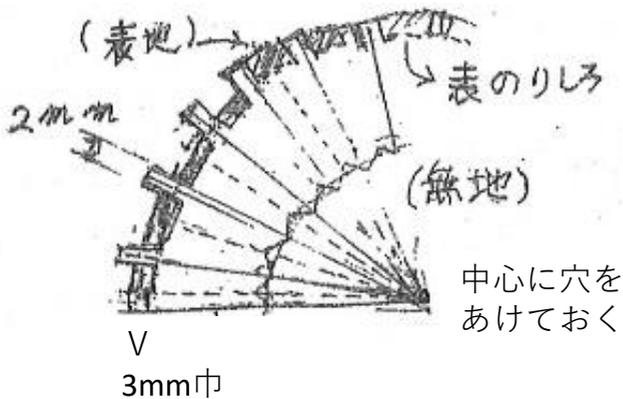
③ 裏の部分（無地）



- ・全体を開き、折り目を正しておく
- ・左塗りつぶしの部分の山折りの部分を谷折りに変える
- ・谷折りの部分を山折りに変える



④ 傘の表と裏をの部分（無地）



◎表地、裏地とも中心点に竹串を通す穴をあけておく

- ・のりしろの部分全部手前に角を全部手前に折っておく
- ・表と裏を中合わせにし、折り目を合わせて重ねる
- ・表ののりしろにのり（ボンド）を付け折り目に合わせて、はぐれないように付ける（後で確かめる）

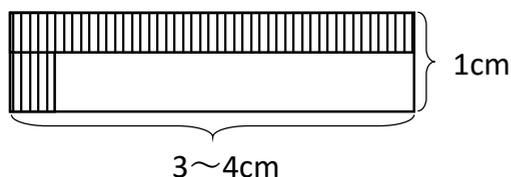
⑤ 竹串を裏の中心より差し込む



金色紙4mm巾を巻き付ける

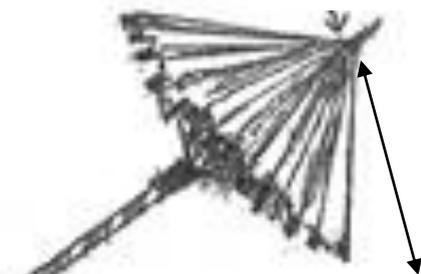


⑥ 傘止めを作る



- ① 半分にボンドを付け、たたんだ傘の中心へ半分は自然に巻き付ける
- ② 出来ない場合、箸先を使い細いストロー状にし下から上へあげ、付けることも出来る

ボンド

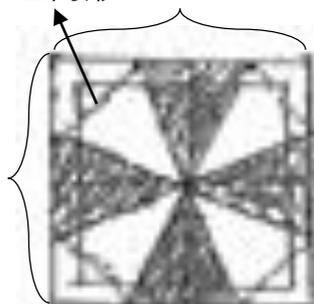


- ・竹串と傘が動かぬようにボンドを付ける
- ・ティッシュペーパーを縄状にして巻き付けボンドで付ける
- ・竹串のとがった先を切り山の形を整える

⑦ 傘の頭をつける

金か銀の紙 (4×4) cm
無地の紙 (3.5×3.5) cm
紙を竹串の先に巻きボンドで固めて★をかぶせる

正三角形



⑧ 最後にリボンひもで結ぶ

かざりひもの中央を傘の頭にボンドで付け結ぶ



鈴のひもを通し、更にひと結びする



かざりひもの先をほぐす

活動事例

鳥取の町の風物詩でもある鳥取しゃんしゃん祭りの傘に見立て、和紙・折り紙で作ったものです。とても細かい作業ですが、作り上げた時の達成感は大きいです。以前は、女性委員長の仕事と位置付け、研修会で行われていましたが、今年度から登録制に変更し、関心のある女性部員によって継承していきます。この傘をケースに入れて、県外のお客様へのお土産として大変喜ばれています。



バンダナで作るエコバック

鳥取市老人クラブ連合会

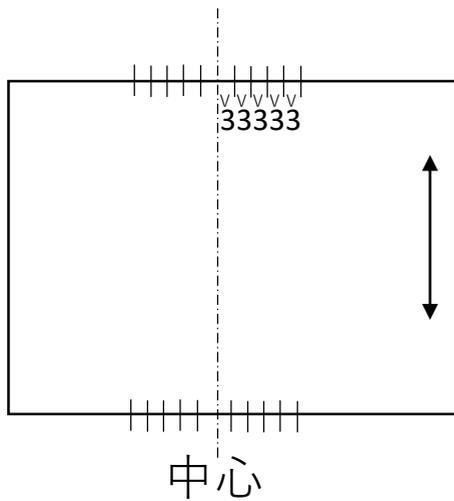


【材料】 (ダイソーより)

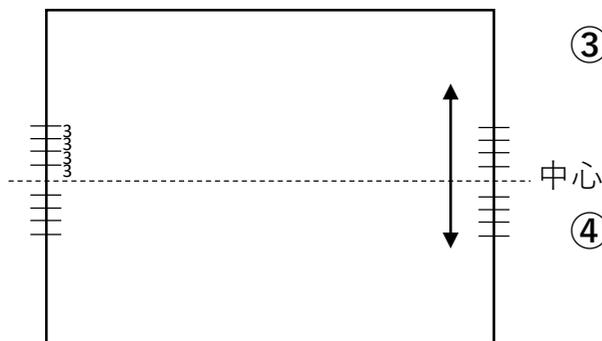
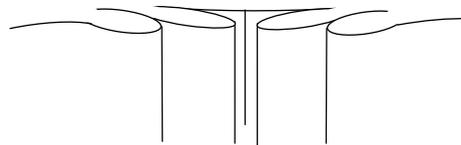
- ・バンダナ 1枚
- ・持ち手 1セット (2本入り)
(Dカン4つを含む)



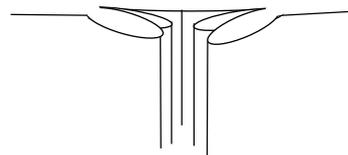
【作り方】



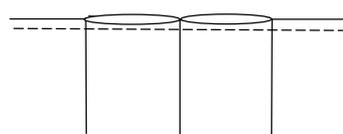
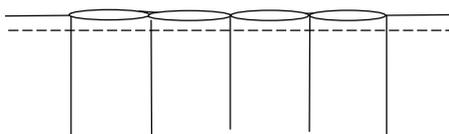
- ① 中心から左右に3cmの印を5コずつ付けます
- ② 印でたたみながら中心に向かってタックを折ります



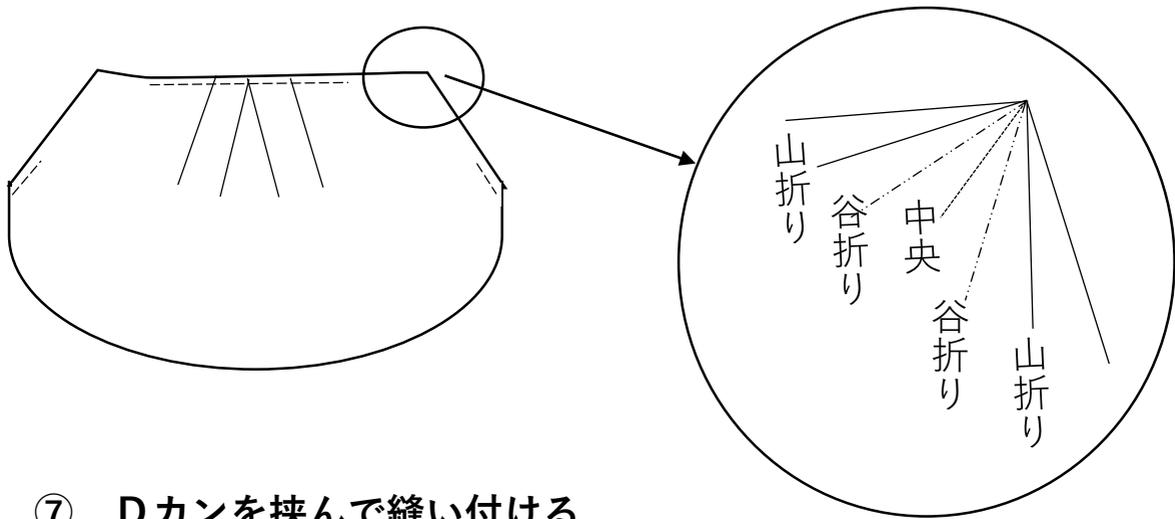
- ③ 横は、中心から4コずつ3cmの印を付けます
- ④ 次は、タックを重ねて折ります



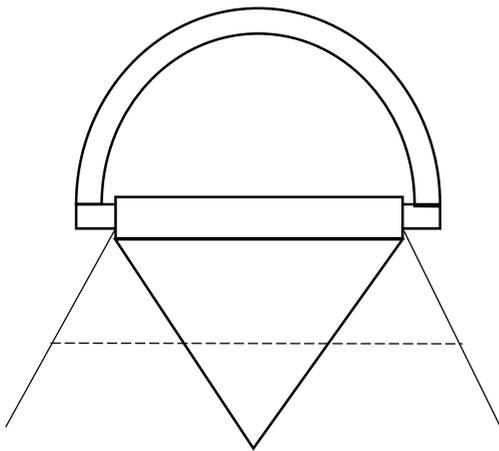
- ⑤ ②と④のタックを折った所を、端1~2mmの所を縫い止めます



⑥ 持ち手を付ける所（4つ端）をたたむ



⑦ Dカンを挟んで縫い付ける



⑧ Dカンに持ち手を付けたら完成！



活動事例

コンビニ等のお弁当入れ袋に・・・

会員からの「コンビニ弁当を入れる袋が欲しい！」との声があり、単位クラブの活動の中で「バンダナで作るエコバック」を作りました。

弁当は、横にすると汁漏れや中身の片寄せなど、なかなか持ち運びが大変と皆さん思いは一緒だったようで、おしゃべりしながら楽しんで作ることができました。

これらの作品は、地域の公民館文化祭などに出展しました。



つまようじ袋

若桜町老人クラブ連合会



【材料】

1辺が15cmの折り紙 2枚



【作り方】

① 15cmの折り紙の1/4の大きさの、色違いのものを2枚使います。



② 2枚とも同じ折り方で同じものを2つ作ります。まず、三角に折ります。



③ 1/3を折ります。折りながら合わせてください。



- ④ 2枚を合わせます。同じ向きにして合わせてください1/3を折ります。
折りながら合わせてください。



- ⑤ 黒線を折ります。2枚とも折って中に折り込みます。



- ⑤ 出来上がりです。

活動事例

つまようじ袋は、研修後の会食時、お弁当に添え付けてお渡ししました。

お弁当に手作りの物が添えてあると、もらわれた方に笑顔が見られ、それをきっかけにその後の会話も弾みとても良い親睦の場になりました。

どなたでも簡単に短時間でつくれるので、ちょっとした「おもてなし」にも活用できます。



めがね置き

境港市ことぶきクラブ連合会



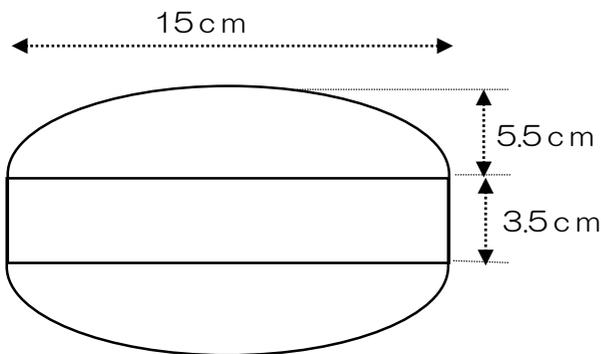
【材料】

- ・布 18cm×18cmの布 1枚
- 17cm×8cmの布 2枚
- 19cm×6cmの布 1枚
- ・キルト芯 27cm×18cm
- ・厚紙 28cm×16cm
- ・ボンド・ハサミ・目打ち
- ・洗濯バサミ (10~15個)

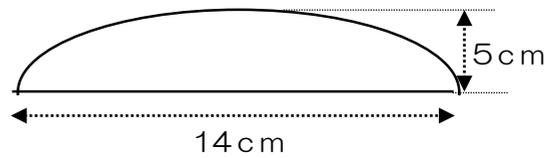


【型紙】

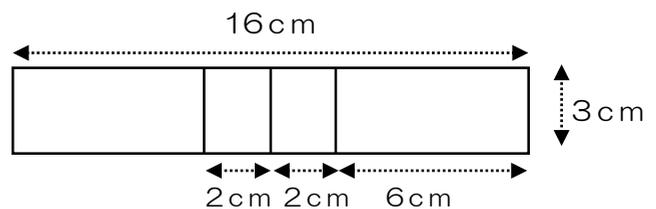
★本体1枚



★中面 2枚

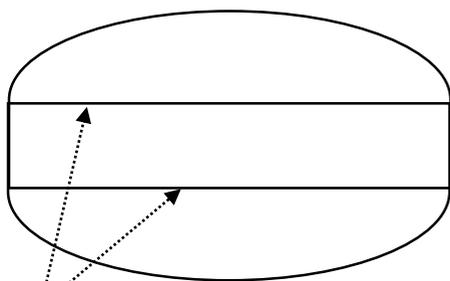


★台1枚

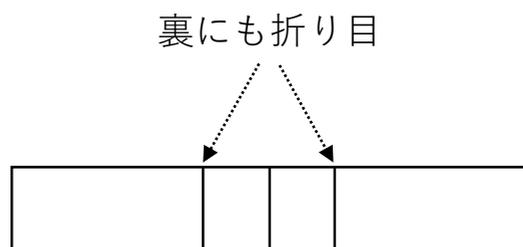


【作り方】

- ① 本体に目打ちで折り目を入れる。台にも折り目を入れる。



2本折り目を入れる

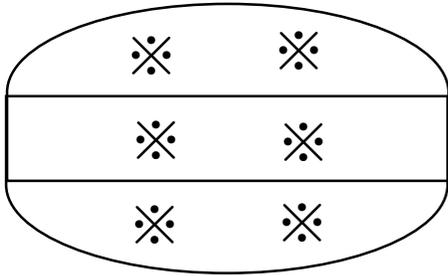


折り目 (山)



② 本体・中面・台にキルト芯をボンドで貼る。台にも折り目を入れる。

本体には線を引いた裏に貼る（ボンドは6ヶ所）



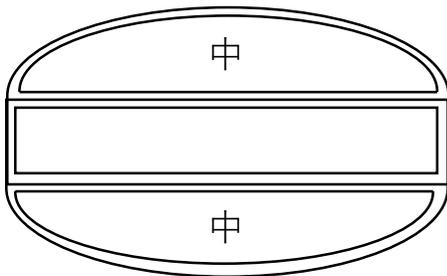
線を引いてある側に貼る（ボンドは2ヶ所）



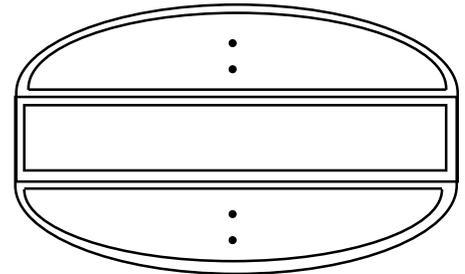
山側に貼る
（ボンドは4ヶ所）

③ キルト芯を付けた上に、それぞれの布を貼る。丸みのあるところには切り込みを入れる（のり代にボンドをたっぷり付ける）

④ ボンドが乾いたら目打ちで穴をあける（針が通る程度）



台は中の端を合わせると山ができる。
台にもボンドをつけて貼る（洗濯バサミで止める）



⑤ 表から針をさし5cm糸を残し、台の山を通り針を出し、また戻って残してある糸ときつく結ぶ

⑥ 飾りをつけて結び目をかくすと完成！



活動事例

この「めがね置き」は、女性活動員研修会で作成し、友愛活動の際にプレゼントしています。

高齢になり、めがねの置き場所が不明になることが増え、探し回ることが多くなったことから、多くの方に喜ばれています。



和風ネックレス

境港市ことぶきクラブ連合会



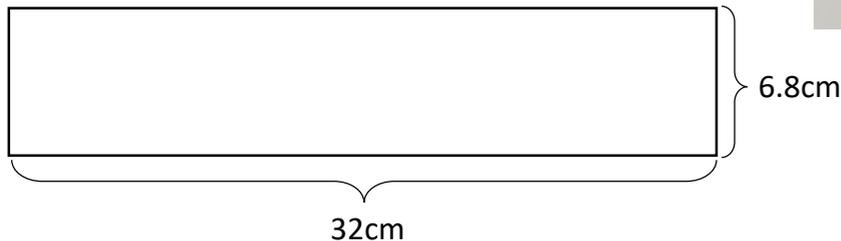
【材料】

- ・ボール袋用布 1枚 (6.8cm×32cm)
- ・結びヒモ用布 2枚 (2.5cm×38~40cm)
- ・ボール・ウッドビーズ 6個程度
- ・発泡ボール 7個程度
- ・まち針 5~6本
- ・絹針又は木綿針と糸通し (100均にセット有り)
- ・指サック (針押し用)
- ・糸切ばさみ

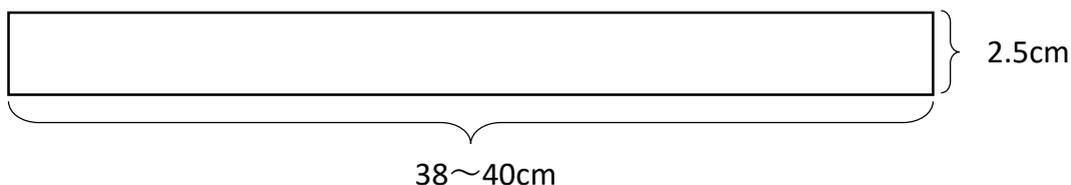


【作り方】

① ボール袋の製図 表布1枚



② 結びヒモの製図 表布2本



③ ボール袋の作り方

ボール袋布を半分に折り、端をグシ縫いする



縫い代を折り、筒状の袋を裏返しにし、ボール・ウッドビーズに袋を通すたびに発泡ボールを中に入れていく



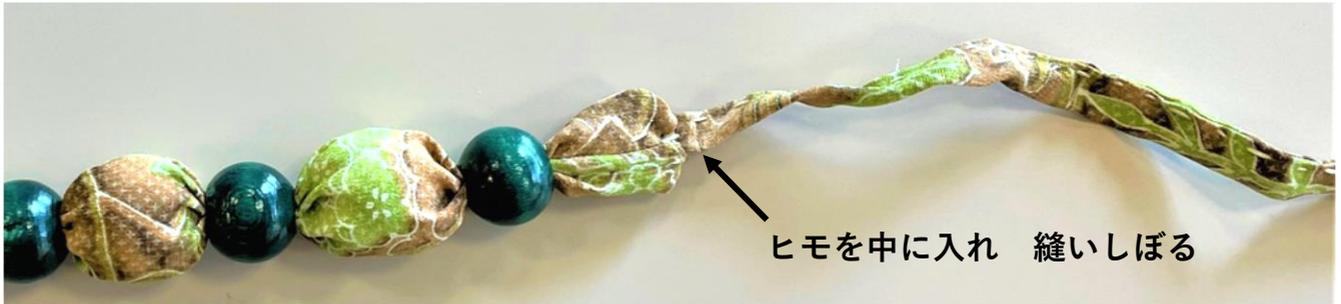
④ 結びヒモの作り方



両端の縫い代を中央に重ねる



0.8cm幅に奥まつりをする



⑤ 完成!



活動事例

和風ネックレスは、いつまでも健康で生きいきとした高齢期をすごすため、自分自身に目を向け「おしゃれ心を忘れず、気持ちを若く、心豊かに日々の友愛活動を実践していきましょう!!」と友愛活動員研修会で作成しました。

女性委員会の活動には、全員が「和風ネックレス」を身につけて参加することにしました。



女性委員会メンバー



【委員長：佐竹ふみ代】



【副委員長：庄司正子】



【副委員長：山田きよみ】



【中尾艶子】



【中川はるこ】



【亀山孝子】



【河崎和子】



【山根美佐恵】



【玉木三千恵】



【岡本美代子】

女性会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。コロナの影響で私たち女性委員会活動も制限を余儀なくされて参りました。そんな中、昨年度は私たちにできる事をとの考えで、ものづくりレシピ集を発行いたしました。そして、今年度このレシピ集を活用し、体験型研修会を実施しました。私たちの特性を生かし、会員の得意分野を生かす取り組みを通して、地域の中で会員相互の連携を深め、活動の活性化を図ることができればと考えました。

それぞれの地域で、サロンで活動を支えているのは女性です。私たち女性会員は、コロナ禍にあっても出来る事をやっていく、そんな取り組みを今後も続けていきたいと思っております。今年度は、以前から続けてきた活動事例集を取り止め、ものづくりレシピ集に集約して発行することといたしました。昨年度分に掲載されていない市町村に原稿をお願いし発行させていただきました。皆様に活用していただくことを願っています。

女性委員長 佐竹 ふみ代